

「THE ROYAL EXPRESS ～HOKKAIDO CRUISE TRAIN～」 2021年運行の旅プランが決定 ～世界に誇る旅舞台「さあ、煌めく旅にでかけよう」～

東急株式会社
北海道旅客鉄道株式会社

東急株式会社(以下、東急)と北海道旅客鉄道株式会社(以下、JR北海道)が運行する「THE ROYAL EXPRESS～HOKKAIDO CRUISE TRAIN～」(以下、本列車)につきまして、2021年に運行する旅行プラン詳細が決定しました。

昨夏は計3回の運行を行い、本列車が立ち寄る旅先で、北海道各地域や自治体の皆さまから心温まるおもてなしや歓迎をいただき、北海道の皆さまとともに旅の舞台を創り上げました。

2021年は、8月13日(金)から9月27日(月)までの期間、定員30名で計7回運行し、昨年同様、北海道の雄大な自然に代表される観光資源や、大地に根ざした人々とのふれあいを通じて、記憶に残るオンリーワンの列車旅を提供します。

3泊4日のプラン内容は、一部新たな料理人が加わりますが、昨年のルートを基本とし、札幌を出発し、帯広・十勝、釧路・知床、オホーツク・北見、旭川・美瑛・富良野の4エリアを巡り、各エリアの大自然、歴史や文化、そして大地の恵みである食、車窓からの世界に誇る絶景など、北海道の持つ魅力や観光資源を、ヴァイオリンの生演奏とともに満喫いただける行程です。

さらに今年は新たに北海道を代表する魅力的なエリアのひとつである、小樽エリアを旅の舞台に加え、9月24日(金)出発の運行で、小樽エリアでの前泊がお楽しみいただける4泊5日プランを3組限定でご用意します。本列車プランの旅の前日に、ノスタルジックな浪漫を感じながら小樽の特別観光を味わっていただいた後、豪壮優美な小樽の名宿「銀鱗荘」で小樽ならではのプレミアムな一刻を過ごしていただくプランです。

2021年の運行でも、北海道の地域の皆さまとともに、北海道の魅力を満喫いただける旅の舞台をお届けし、最高の「美しさ、煌めく旅。」へご案内します。

なお、安心して旅をしていただくために新型コロナウイルス感染防止の対策を講じて運行します。プラン詳細については別紙のとおりです。

以上



【2020年運行の様子】(左):釧路湿原を走行 (中):釧網線沿い(網走市)で地域の皆さまから歓迎 (右):根室線 十勝川橋梁を渡る本列車
(右画像はかわたび北海道提供)

【別紙】

1. プラン日程(3泊4日、計7回)

- ①2021年8月13日(金)～16日(月)
- ②2021年8月20日(金)～23日(月)
- ③2021年8月27日(金)～30日(月)
- ④2021年9月 3日(金)～ 6日(月)
- ⑤2021年9月10日(金)～13日(月)
- ⑥2021年9月17日(金)～20日(月)
- ⑦2021年9月24日(金)～27日(月)

※⑦は4泊5日の限定プランあり(小樽市に前泊・3組さま限定)



2. 販売時期・金額・および方法などについて(企画・販売: 東急)

(1)販売時期:①先行販売(THE ROYAL EXPRESS リピーター※1)

2021年3月11日(木)～3月30日(火)まで

②一般販売 2021年3月11日(木)～4月20日(火)まで

(2)販売方法:ホームページ・郵送でのお申込み受付後、抽選での販売

(3)旅行代金:お一人さまあたり73万円(税込) ※2名1室利用の基本料金の場合

(4)募集人数:1回あたり最大15組30名(最少催行人員16名)

※昨年中止となった運行からの振替の方を含む

<参考:2020年応募人数:計1,232名(当選確率:約8.2倍)>

(5)その他:詳細はオフィシャルホームページ(<https://www.the-royalexpress.jp>)にてご案内します。

(6)問い合わせ窓口:ツアーデスク TEL:03-6455-0644

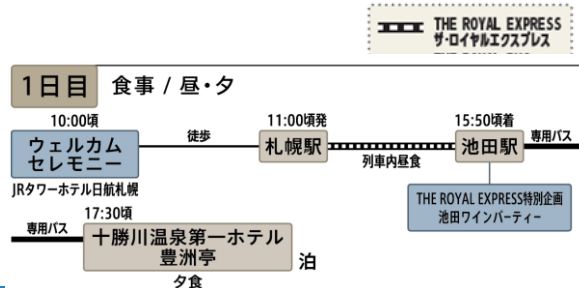
営業時間:10:00～17:00(休業日/水曜日・日曜日・祝日・年末年始)

※緊急事態宣言期間中は10:00～15:00

※1「THE ROYAL EXPRESS リピーター」は過去に THE ROYAL EXPRESS クルーズプランを2回以上ご参加いただいた方を対象とさせていただきます。

3. 行程

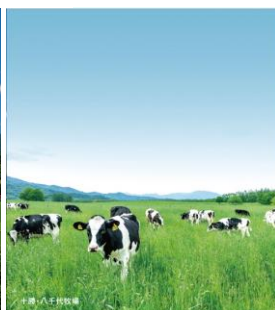
<1日目>～壮大な大地と自然の恵～



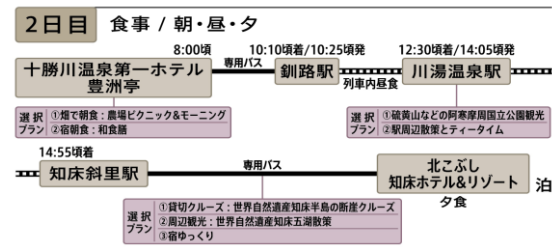
札幌を出発し、いよいよこれまでにない北海道の旅の始まり。昼食では、北海道でしか味わえない最高なネタを使ったお寿司をお楽しみいただけます。車窓からは次第に十勝平野の壮大な大地と自然を感じながら、ゆったりと流れる刻をお過ごしください。

池田に到着すると THE ROYAL EXPRESS 特別企画池田ワインパーティーで世界に誇る十勝ワインをお楽しみいただけます。

<宿泊> 十勝川温泉第一ホテル豊洲亭



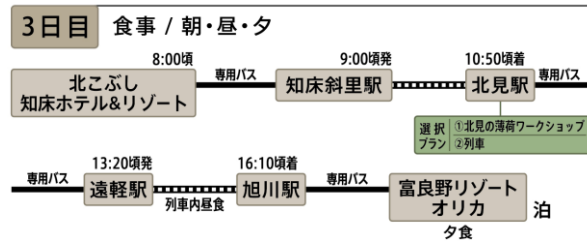
<2日目>～刻を忘れるほどの絶景～



朝食には、農場で採れたての野菜をご用意しており、十勝でしか味わえない味わいをご堪能ください。その後、車窓からは世界に誇る大自然が織りなす釧路湿原をお楽しみいただき、阿寒摩周国立公園の大自然に触れ、その後世界自然遺産の知床へ。日本最北東端の秘境を THE ROYAL EXPRESS 貸切クルーズ船にてご案内します。

<宿泊> 北こぶし知床ホテル&リゾート

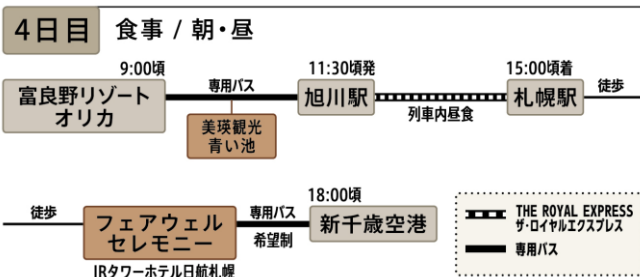
<3日目>～世界に誇る車窓から～



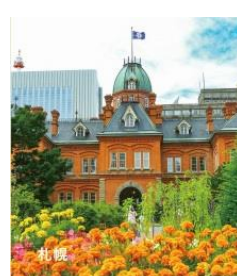
海の幸の宝庫である知床でしか味わえない朝食をお楽しみいただいた後、オーシャンビューを眺めながら旅を進めます。北見では薄荷のワークショップ体験をお楽しみいただき、その後大雪山の山々では、森の碧さ、透き通るような川の流れ、雄大な山々など、我を忘れるような車窓の世界が広がります。下車後、バスにてパッチワークが鮮やかな美瑛の景色をご覧いただいたのち、最後の夜は音楽ともにお過ごしください。

<宿泊> 富良野リゾートオリカ

<4日目>～フィナーレ～



美しく輝く富良野の花畑、幻想的な青い池など色とりどりの自然が織りなす絵画のような景色を眺めながら THE ROYAL EXPRESS は札幌へ。昼食は美瑛の新鮮な野菜を鮮やかに表現したイタリア料理をお楽しみいただけます。フェアウェルセレモニーでは旅の思い出を分かち合いながらお過ごしください。



4. 旅の舞台を彩る匠の皆さま

■料理人

＜1日目 1回目、2回目：千歳市＞林直司氏【北の華 はやし】店主 寿司(2020年・2021年運行)



選りすぐった天然の魚介類を仕入れ、旬の素材を握りにあった出し方で提供される極上の江戸前の寿司とおもてなしは格別。北海道、千歳まで足を運ばなければ食することができない大将の情熱がこもった握りを、ぜひ列車の中でお召し上がりください。

(2017年ミシュランガイド北海道にて二つ星を獲得)

＜1日目 3回目～7回目：千歳市＞福田 竜大氏【すし心 福籠】店主 寿司(2021年運行)



選りすぐった北海道の新鮮な美味しさを追求した素材で提供されるお寿司は蝦夷前の良さと江戸前の良さのどちらも楽しめるような北海道でしか味わうことができないお寿司。大将の心温まる握りを北海道の大地とともにお召しあがりください。

＜2日目：釧路市＞渡部伸雄氏【日本料理 紀伸】店主 日本料理(2021年運行)



北海道の自然が育んだ素材の持ち味を活かした料理方法で仕立てた、釧路でしか食べられない隠れ家的な名店。日本料理の本質を追求するからこそ無駄な手を加えず、美しい一皿で表現され、北海道食材と繊細で伝統的な日本料理のマリアージュをご堪能ください。

(2017年ミシュランガイド北海道にて一つ星獲得)

＜3日目：北見市＞梅田隆弘氏【割烹 うめ笹】店主 割烹(2020年・2021年運行)



約30年余り地元で愛される日本料理を目指し、伝統的な日本料理に創意を加え季節に応じ懐石献立をしたて上げる。単に「料理」と呼ばれるのではなく「お料理」と言っていただけのような懐石に心がけ、地元の皆様が舌の肥えた客人を遠方から招待しても、満足のゆく味わいを常に目指しています。

(2017年ミシュランガイド北海道にて一つ星獲得)

＜4日目：美瑛町＞才田誠氏【Valore(パローレ)】シェフ 創作イタリア料理(2020年・2021年運行)



美瑛町の雄大な景色、良質な素材の近さに感動し2007年にオープン。自然が織り成す色彩豊かなこの土地を、才田シェフ独自の世界感で表現するべく地元の生産者との関わりを大切に育みながら日々料理に向き合います。

(2017年ミシュランガイド北海道にて一つ星獲得)

■デザイナー 水戸岡鋭治氏【ドーンデザイン研究所主宰】



建築・鉄道車両・グラフィック・プロダクトなど、さまざまなジャンルのデザインを行っています。車両や関連施設のデザインは鉄道ファンの枠を超えて広く注目集め、ブルネイ賞、ブルーリボン賞、日本鉄道賞、毎日デザイン賞、菊池寛賞などを受賞しています。「THE ROYAL EXPRESS」では、車両デザインのほか「THE ROYAL LOUNGE/CAFÉ」「THE ROYAL BUS」「THE ROYAL HOUSE」を手掛けます。

■音旅演出家 大迫淳英氏【ヴァイオリニスト】



「旅と音楽の融合」をテーマに、音旅演出家として THE ROYAL EXPRESS の旅の魅力プロデュース。THE ROYAL EXPRESS のテーマ曲を演奏するヴァイオリニストとして、列車の旅に感動をもたらし、記憶に残る華麗な旅を提供。北海道クルーズのテーマ曲「THE ROYAL EXPRESS～北海道の旅～」も制作し、北海道を力強く走る列車を躍動感のあるフレーズで、また広大な大地をエレガントなメロディーで表現しています。

5. 旅のみどころ



<1日目: THE ROYAL EXPRESS 特別企画池田ワインパーティー>

THE ROYAL EXPRESS で最初に降り立つ地、池田町。寒冷な気候と地元の方々の情熱から生まれた十勝ワインは、世界からも評される日本を代表する国産ワインです。ぶどう畑が広がる池田町で、THE ROYAL EXPRESS が織りなす特別なワインパーティーをお楽しみください。池田ワイン城(<https://ikeda-wj.org/>)



<2日目: 農場ピクニック&モーニング>

どこまでも美しく広がる十勝の田園風景で、隅々まで手入れの行き届いた農園は食の宝庫です。農家の方々の想いを感じながら、普段は入ることのできない畑で、採れたての作物をお召し上がりいただきます。大地の恵みを五感で感じ、北海道ならではの“ごちそう”をお楽しみください。

株式会社いただきますカンパニー(<https://itadakimasu-company.com/>)



<2日目: 知床貸切クルーズ>

人の手が加えられずに、今もなお自然そのものの姿で維持されている世界自然遺産、知床半島。船でしか見ることのできない、自然が創り出したダイナミックな美しさを THE ROYAL EXPRESS 貸切クルーズ船にてご案内します。野生動物たちが住む森に囲まれた神秘的な絶景、そして大いなる生命循環の自然が織りなす舞台が未知なる出会いに誘われるでしょう。知床遊覧船(<https://www.shiretoko-kazu.com/>)



<3日目: 北見の薄荷ワークショップ>

明治35年頃から生産が始まった北見の薄荷は当時世界薄荷市場の約70%を占めた一大産地で、北の大地の発展と文化形成に大きな役割を果たしました。日本近代化産業遺産として北見の歴史・文化を今に伝えている「薄荷記念館」。希少な天然の和種薄荷が栽培されている北見で、薄荷を使った貴重なワークショップをぜひお楽しみください。北見薄荷記念館(<http://www.kitamihakka.jp/>)



<4日目: 自然が織りなす美瑛の芸術>

大雪山の裾野に広がる美瑛の丘。自然が生み出したなだらかな斜面に、美しく育つ畑の恵み。さまざまな農産物が起伏に富んだ丘を埋めつくし、「パッチワーク」と呼ばれるほど豊かな表情をみせています。多くの写真家や旅人を惹きつけてやまない、日本を代表する絵画のような景観美をお楽しみください。

6. THE ROYAL EXPRESS~HOKKAIDO CRUISE TRAIN~

「銀鱗荘でのプレミアムな一刻」プランの組数限定発売について

2021年9月24日(金)出発の運行で、小樽の名宿「銀鱗荘」に宿泊するプランを本数限定で販売します。詳細は以下の通りです。

(1) THE ROYAL EXPRESS~HOKKAIDO CRUISE TRAIN~「銀鱗荘でのプレミアムな一刻」プラン内容

2021年に運行するTHE ROYAL EXPRESS~HOKKAIDO CRUISE TRAIN~の7回目の運行と組み合わせた日程で、豪壮優美な小樽の名宿「銀鱗荘」でプレミアムな一刻を過ごしていただくプランです。北海道の海の玄関口として歴史を刻んだ小樽で、ノスタルジックな浪漫を感じながら特別観光を味わっていただき、さらに宿泊いただく銀鱗荘では「眼下に煌めく石狩湾」と「プレミアムなディナー」でお迎えます。



▲銀鱗荘から眺める石狩湾



▲銀鱗荘外観





▲小樽運河

<銀鱗荘>

石狩湾を見下ろす平磯岬の高台に建つ小樽市指定歴史建造物にも選ばれた豪壮優美な鯉御殿の宿「銀鱗荘」。銀鱗荘は現存する数少ない鯉御殿のひとつとして変わらぬ雄姿で北の海に繰り広げられた栄華の歴史を今も伝えます。北海道産の食材の素の良さを最大限に活かした和食とフランス料理、そして絶景の露天風呂で、お客さまをおもてなしします。



(2)「銀鱗荘でのプレミアムな一刻」プランの見どころ

<小樽芸術村特別観光>

海の玄関口として栄え、経済の中心地として北海道経済の基礎を作った小樽。栄華を誇った20世紀初頭に建造された旧荒田商会、旧高橋倉庫、旧三井銀行小樽支店、旧北海道拓殖銀行小樽支店の4棟を中心に、それぞれの建物にその時代を華やかに彩ってきた日本や世界の優れた美術品・工芸品を展示公開しています。小樽の歴史とともに特別ガイドによる解説を通して鑑賞いただけます。

<THE ROYAL EXPRESS Premium Dinner>

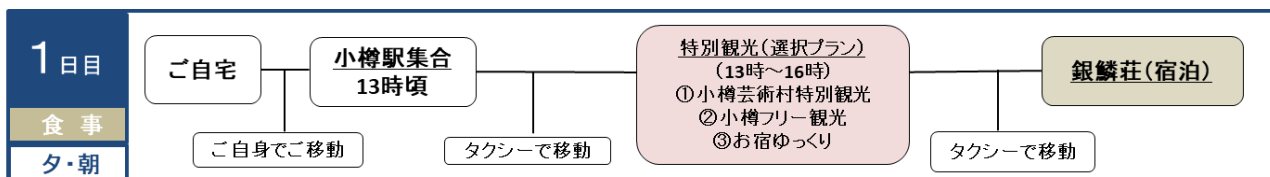



魚網倉庫だった建物を活かし、寺社建築様式を残した風情ある趣で、小樽ならではの海、山そして大地から届いた新鮮な食材を美しく煌めかせた本格フランス料理。
THE ROYAL EXPRESS のお客さまだけの特別に、採れたての贅沢な素材でのPremium Dinnerをお届けします。

(3) 日程: 2021年9月23日(木・祝)～9月27日(月) 計4泊5日

※本列車の7回目運行の2021年9月24日(金)～27日(月)プランに、銀鱗荘で前泊するプランを組み合わせた4泊5日のプランです。

(4) 行程(9月23日(木・祝)) ※4泊5日の1日目



※特別観光は上記①～③からお選びいただけます。

※2日目は朝食後、THE ROYAL EXPRESS ウェルカムセレモニー会場(JR タワーホテル日航札幌)へタクシーでご案内します。

※2日目のウェルカムセレモニー以降は、THE ROYAL EXPRESS～HOKKAIDO CRUISE TRAIN～プランと同様です

(5) 旅行代金

日程	1泊目(9月23日)	2泊目(9月24日)	3泊目(9月25日)	4泊目(9月26日)	販売 組数	ご旅行代金(お1人様あたり) 税込		
宿	小樽・銀鱗荘	十勝川温泉第一ホテル豊洲亭	北こぶし知床ホテル&リゾート	富良野リゾートオリカ		3名1室利用	2名1室利用	1名1室利用
部屋タイプ	新館和室	コーナーDXツイン	オホーツク倶楽部DX露天	ジュニアスイート	2	—	865,000	1,040,000
	特別室	モダンスイート	オホーツク倶楽部DX露天	グランドスイート	1	960,000	960,000	—

(6) 募集人数: 3組 最大7名 ※新館和室: 2組、特別室: 1組

7. 新型コロナウイルス感染予防の取り組み

(1) 列車内の安全対策

- ・外気と換気設備による換気実施(一部停車駅でのドアの開閉)
- ・十分な間隔を確保するため席配置変更
- ・ファミリーカー(1号車)のボールプール利用停止
- ・バスの台数を1台から2台に増加

(2) 従業員の安全対策

- ・毎日の検温、健康管理の実施(チェックシートの記入)
- ・クルー・スタッフのマスクの着用や、手洗い・消毒を徹底
- ・体調不良時や体温37.5度以上の場合は入社せずに自宅待機
- ・THE ROYAL EXPRESS のパートナー(バス、演奏者、調理、宿泊・観光施設など)の各ガイドラインに基づく対策の徹底

(3) ツアー全体での対策

- ・ご参加されるお客さま全員の検温(原則、体温37.5度以上のお客さまのご利用はご遠慮いただきます。)
- ・列車内、そのほかツアー内でご利用いただく施設・備品の定期的な消毒、アルコール消毒液の設置
- ・飲食以外の時間は、お客さまに原則マスク着用へのご協力を依頼

※安全・安心に旅行をお楽しみいただくために、その他各種ガイドラインに基づき対策を実施します。
詳細は下記URLをご確認ください。

<https://www.tokyu.co.jp/tokyu/the-royalexpress/covid-19/hokkaido-cruise-train.pdf>

(参考)

■列車デザインについて



▲列車デザインイメージ©ドーンデザイン研究所

列車の動力となる機関車(JR北海道所有)は「北海道の力強く明るく元気な太陽の色・収穫の色」として「橙・オレンジ」を、列車内サービス用電力を供給する電源車(東急電鉄株式会社所有)は「『THE ROYAL EXPRESS』のロイヤルブルーとオレンジを粹につなぐ色」として「白・ホワイト」をメインカラーとし、北海道の自然豊かな緑の中を走る「THE ROYAL EXPRESS」のロイヤルブルーに橙、白が融合し、旅を楽しく美しく演出します。本列車の装飾は、「THE ROYAL EXPRESS」を手掛けた水戸岡鋭治氏がデザインしています。

■本プロジェクトについて

JR北海道と東急は、北海道胆振東部地震の影響を受けた北海道を応援するため、観光振興と地域活性化を目的として、2019年2月に観光列車の走行プロジェクトを両社および東日本旅客鉄道株式会社(以下、JR東日本)、日本貨物鉄道株式会社(以下、JR貨物)の4社連携で立ち上げました(※)。

観光列車「THE ROYAL EXPRESS」(伊豆急2100系)を使用し、道東エリアを中心とした観光資源を体感できるコースに運行させます。鉄道事業者が連携して、観光列車を訴求力のある旅行商品に仕立てることで、北海道の観光資源の魅力発信を行います。

※JR東日本は電源車を東急電鉄に譲渡、JR貨物は北海道内で運行する車両を北海道まで回送運搬。

■伊豆エリアにおける「THE ROYAL EXPRESS(伊豆急2100系)」の運行について

8両編成・定員約50名の観光列車で、客車、キッチンカー、コンサート・結婚式・展示会など様々な活用が可能なマルチカーで編成されています。水戸岡鋭治氏がデザインを手がけた車両は、車両ごとにデザインが異なり、先端技術から生まれる素材や工法に、伝統的な素材や職人の技を組み合わせ、上質な空間を創り出します。これまで約10,500名のお客さまにご乗車いただき、そのうち約12%のお客さまに複数回ご利用いただいています。

伊豆での運行につきましても、新型コロナウイルス感染防止対策を施したうえで、運行しています。

